

# フィンネットワーク通信

2015年4月号

こんにちは！  
フィンネットワークの赤木です。

このニュースレターがお手元に届くころ、  
あなたの家の近くにある桜はもう満開に  
なっているのでしょうか。



この季節になると何だかウキウキしてくると同時に、桜の花びらが散っていく様に儂さも感じます。

喜びと寂しさが共にあるとき、生きているという実感が  
増すのかもしれないですね。

さて、4月は新年度、新しいスタートの季節です。  
何かを新しく始める、もしくは何かを終えるにはもっ  
てこいの季節。あなたはどんな月にしたいですか？

それでは今月もよろしくお祈りします！

## スピリチュアルライティング講座、その後

「詳細が決まり次第、随時お伝えしていきます！」

と前号で書きましたスピリチュアルライティング講座  
座（略してスピライ）



みなさんに紹介する前にまずは自  
ら体験しようと、マスターこと濱  
田さんから個人レッスンを受ける  
ことにしました。

講座の開口一番、マスターから問  
いかけが。

「アッキー、苦手なこととそうでないことの違って  
何だと思っ？」

「うーん、苦手と思い込んでいるからかなあ。」

「苦手なことは“出来ない”とか“嫌だなあ”とい  
う心の声がうるさくてヤル気が失せるけど、得意なこと  
とは何も考えずに、さっと取り掛かるよね〜」

「確かに。」

「そう、考えってどこからともなく浮かんでくるって  
わかる？ 文章を書くのが苦手な人は『文章を書くの  
が苦手だ』という考えを真に受けているだけなんだ。」

いや、お恥ずかしながら、コーチングではクライアント  
さんに同じようなことを伝えてますが、自分の思い  
込みはなかなか気づかないもんですね。(；´∀`)  
(だから、コーチがいる価値があるのですが)

「で、考えはどこからともなくやってくるから、質問  
を投げかけたら、あとは待てばいいんだ。そしたら、  
どこからともなく答えはやってくるよ。」

「じゃあ、実際にやってみようか。」

マスターの言う通りにしてみると、あら不思議！言葉  
がスルスル〜っと出てくること出てくること。

「それをつなげたら文章になるよ。簡単だろ？」

確かにそのとおりです、はい。

今まで書けなかったのは一体何だったのか？と、狐に  
つままれたかのような不思議な時間でした。

あと数回あるので、どんな変化が自分の身に起きるの  
か楽しみです！

## スピ系の本ですが、何か・・・

以前、知り合いから紹介されて読んでみたら、笑いあ  
り涙ありと、よしもと新喜劇のようなコントが掛け合  
い漫才のような「スピリチュアル系」の本がこちら

「神様とのおしゃべり」(<http://goo.gl/3j4vPC>)



最初見た時は分厚かったのが買う  
のを躊躇していましたが、読み始め  
るとたった2日で一気に読了。

スピリチュアル系の本は、いろいろ  
読みましたが、抽象的、概念的で途  
中、睡魔に襲われることもしばしば。

(まあ、眠たくなるのは本のせいではなく僕の理解力  
の問題ですが(笑))

なので、最近は滅多にスピ系の本は読まなくなったの  
ですが、「神様とのおしゃべり」は、二人の登場人物  
が対話するカタチ（いわゆるボケとツッコミ）になっ  
ているので、スッと伝わってきて腑に落ちる、そんな  
本でした。

フェイスブックで紹介したら、思った以上に反応があ  
ったので、こちらでも紹介します。ものの見方や考え  
方が柔らかくなって、視野が広がるかもしれませんよ。

[ウラも見てくださいね→](#)

# アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワーク “福” 社長の朝比奈です。

日差しが温かくなってきた今日この頃。私が住む京都では、本格的な観光シーズンを迎えます。



私も昔はココぞとばかりに、カメラ片手に色々な観光名所を巡ってました。

旅行自体は今でも好きで、TVやネットで美しい風景を観ると、心動かされます。

ただ、行ってみたいな～観てみたいなあ～と一瞬は思うものの、いざ出陣！は減った気がします。

なぜだろう・・・ということで、ちょっと考察してみました。

結論から言うと、「メディアが発達しすぎたせい」でしょうか。

って、もっともらしく聞こえるけど、意味わかりませんよね。(ラッスンゴレライみたい(笑))

要は、こういうことです。

「わぁ～、壮大な風景。」  
「雲に浮かぶお城。これは観なくてはい！」

今はTVや雑誌で、日本だけでなく、世界の絶景を目にする機会が多いですよね。この目で観たくて、以前は足を運んでいた訳ですが。

素晴らしい風景なのは間違いないのですが、期待以上の感動が得られることは滅多にありません。



恐らくTVや雑誌で目にした時が、私にとっての「感動MAX」なのでしょう。

せっかく本物を目にしても、事前に脳内に焼き付いておいたイメージを迫体験しているに過ぎないのです。

2006年に、私が高校生の頃から憧れていたインドのタージマハール、ついに訪れた時もそうでした。

スケールの大きさに目を見張ったものの、長年の期待も大きすぎたのでしょうか・・・思ったほどの感動はありませんでした。

(あっ、インドという国そのものはかなりぶっ飛んでいて、非常に面白かったのですが(笑))

ただし、期待感どころか、何の予備情報もなく偶然、タージマハールを目にしたのであったら、あの美しさに心震わせていたでしょう。

「わざわざ行かなくても、TVやネットでみたら、もう行った気分になれるしい～」  
若者がTVのインタビューに、こう答えていましたが。

案外、私だけではないのかもしれませんが。

それでも知らない場所に行ってみたい私には、ミステリーツアーがいいのかなあとも思う今日この頃です。

## コレがオススメ！



セーターや靴下などにブツブツ出てくる毛玉。着る分に支障はないけど、見た目が貧乏ですよね(笑)

今回紹介するコレに出会う以前も、いくつかの毛玉取り器を試しましたが。

自分の手でむしり取った方が早いのでは！？ と思えるほどのシロモノばかりでした。

なので、コレを初めて買ったときも、あまり期待してませんでした。

ウィーンという音と共に、セーターにそっと近づけると・・・

面白いほど！ 毛玉が取れるじゃないですか！！

IZUMI (泉精器製作所)  
毛玉カット とるとる  
KC-NB34-P



今までの苦労は何だったの・・・  
というくらい、あっけなく  
キレイになりました。

毛玉取りは精神集中できるので、結構好きです。しかしハリキリ過ぎたのが、2年ほどで故障してしまい、現在は2台目を使用中です。

もし毛玉取りを億劫と思われるなら、ぜひコレを試してみてください。

ファインネットワーク通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映末

〒615-0025

京都市右京区西院西矢掛町 18 番地

TEL：075-951-6310

HP <http://www.finenetworld.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetworld>

